

ADKが「ブランドと世の中の最適な関係づくり」を実現する 「株式会社CHERRY」を設立



撮影：瀧本幹也

株式会社アサツーディ・ケイ(本社:東京都港区、代表取締役社長:植野伸一、以下ADK)は、クリエイティブ新会社「株式会社CHERRY」(以下CHERRY)を設立し、本日7月2日より営業を開始いたします。2018年、中長期的な成長を見据えて新しいスタートを切ったADKから、怖いもの知らずな次世代クリエイター6名が独立。従来の広告表現の枠組みに捉われないジャンルレスなアイデアによって、「ブランドと世の中の最適な関係づくり」を実現していきます。

URL: <https://chrry.jp>

近年、人々の嗜好やライフスタイルが細分化し、情報収集手段が多様化するのに伴って、広告をスルーしたり、信じない人々が世界的に増えています。そうした環境下で、広告主は、従来の広告手法による接点づくりにとどまらない、持続的なブランディングを重視するようになりました。そのとき必要になってくるのは、社会に幅広く「ニュース」を提供しながら、人々の認識を変え、そのブランドのファンに育てていく「関係づくり」の目線です。ADKは、そうした要請に応じて今日的なブランドパートナーになり得る独立組織が必要であると判断。これまでPRバリューが高い広告キャンペーンを手掛けてきた社内クリエイターとビジネスプロデューサーが「ブランドと世の中の最適な関係づくり」を実現する新会社、CHERRYを発足させるに至りました。CHERRYは、ADKの完全子会社としてADK本社の近隣に独立したオフィスを持ち、より自由に、より機動的にアイデアを創出してまいります。



表現づくりから、 関係づくりへ。

コミュニケーションが多様化し、
マス広告ありき、デジタルありきといった、
ワンパターン発想ではターゲットが動きにくい時代。
出稿枠の中だけで完結する従来型のクリエイティブではなく。
手法や枠組みに捉われないジャンルレスなアイデアによって、
社会的なニュースをつくる。ブランドのファンを育てる。
そんなブランドと世の中の最適な関係づくりを実現していきます。

Creativity for Engaging

コーポレートロゴ



CHERRY

会社概要

会社名 : 株式会社CHERRY
役員 : 代表取締役社長:鈴木聡倫(ADKより出向)
取締役:青木一真(ADKより出向)
取締役(非常勤):原田太一(ADK)
監査役(非常勤):内田哲也(ADK)
設立 : 2018年7月2日
本社所在地 : 〒105-0003
港区西新橋二丁目35-5-5F
(8月下旬 開設予定)

社名「CHERRY」について

ブランドの果実を实らせる。
ポテンシャルを開花させる。
サクラサク未来をつくる。
そんな決意と、広告の仕事を目指した頃の
初心を忘れないという想いが
こめられています。

コーポレートサイト

<https://cherry.jp>



鈴木 聡倫 Akinori Suzuki

CEO / Business Producer

2005年ADK入社。HR部門、アカウントプロデュース部門を歴任。採用、人材育成から、商品開発を中心とした商品のブランディング、ブランド体験施設やサービス開発等、多岐にわたるプロジェクトマネジメントを強みとする。



青木 一真 Kazuma Aoki

Creative Director / Copywriter

2005年ADK入社。営業からクリエイティブへ異動後、コピーライターとして、マス制作や統合キャンペーンを幅広く担当。手法や領域に捉われないアイデアを信条に、世の中をざわつかせる新しい広告のかたちを探求中。テクノと唐揚げが好き。



原田 堅介 Kensuke Harada

Creative Director / CM Planner

2007年ADK入社。大手飲料メーカーの担当営業を経験後、クリエイティブに転局。“笑いは人類を救うアートである”という考えのもと、領域に捉われない発想で、発見と驚きを大切にコミュニケーションのトータルプランニングを強みとする。



増田 総成 Fusanari Masuda

Creative Director / Art Director

電通テックを経て、2014年ADKへ移籍。アートディレクターとしてマス広告を含む統合キャンペーンの企画制作を担当。ユーザー体験を変えるコミュニケーション開発と日本文化に根付くブランディングを強みとする。



大橋 謙讓 Kenjo Ohashi

Art Director

2009年ADK入社。2012年個展「大橋謙讓の不時着」開催。マス広告全般に加え、展覧会や大型音楽フェスのアートディレクションを経験。また、MUJI、Hermèsが主催する国際コンペティションでそれぞれ入選経験を持ち、アウトプットのかたちに捉われないアイデア開発を強みとする。



贄田 翔太郎 Shotaro Nieda

PR Director / Creative Director

2010年ADK入社。マーケターとしてコミュニケーション戦略立案に従事した後、デジタルを活用したキャンペーンを多数制作。その経験を統合し、課題の発掘から解決に向けたコンセプト策定、企画制作とPRまでを一貫して担当する。ブランドと人の関係を定義し、絆を強めるプランニングが信条。地方への移住促進から企業の人材確保、新人アーティストのデビューPRまで幅広いミッションに対応する。